

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:平成31年3月8日

事業所名 放課後等デイサービス すかい

保護者等数(児童数)15人 回収数 12人 割合 80%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	3			移転後のすかに行っていない。	5㎡/1人以上のスペースを確保しています。 (2.47㎡/1人を遵守している。)
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10			2		利用者1人当たり0.5人以上の職員を配置しています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	3				ほぼバリアフリー化されています。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11	1				アセスメントやモニタリング・支援後の評価などから適切な計画書を作成してまいります。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	7	4		1		子ども達の特性を理解して、平日や長期休暇に合わせた支援を行っています。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	4		1		治田西小学校のグラウンドで、学童保育の児童と放課後に交流しています。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12					子ども達の自宅への送迎時や連絡帳等で意思疎通ができるように心がけています。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	3				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	8		3		保護者会の開催については、保護者の意見をもとに実施してまいります。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	3			今までに苦情を聞いたことがないです。	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12					子ども達の自宅への送迎時や連絡帳等で意思疎通ができるように心がけています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12					毎月「すかい通信」を発行して、当月予定や前月の様子、及び連絡事項等を記載しています。
14	個人情報に十分注意しているか	12						
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	1		1	配布してもらっています。	事務所内に掲示しています。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	1			子どもからと連絡帳により確認しています。	より一層子ども達に理解できるように行ってまいります。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	12				いつも通所を楽しみにしています。	子ども達がいつも「すかに来て楽しかった」と感じてもらえるような支援を心がけています。
	18	事業所の支援に満足しているか	12					

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月8日

事業所名 放課後等デイサービス すかい 在籍指導員 7名

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			子どもたちが安全に過ごせるスペースの確保	5㎡/1人以上のスペースを確保している。(2.47㎡/1人を遵守している。)
	2	職員の配置数は適切である	7				利用者1人当たり0.5人以上の職員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3		必要な場合は入り口にスロープを配置する。	ほぼバリアフリー化されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	1	5	1		ミーティングで改善等の検討を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2		アンケート結果により保護者の要望や質問に答えるようにしている。	年1回 4月にアンケート調査を実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	4			事務所において公開している。H31.3月末には30年度自己評価をHPする。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3	4		第3者評価はできていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		H31年度は、定期的に実施する。	外部研修は少ないが、内部では実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	5			標準化されたアセスメントツールの使用はない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2			子ども達が楽しむ遊び・イベントを職員で検討、実施している。(特に長期休暇について)
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	6			平日は利用時間が短いので、来所の子どもに合わせて支援しているが、長期休暇では、全体で活動する内容を組みこんだ内容(ボーリング、プール、日帰り旅行など)を実施。また一人一人の子どもの特性を見ながら支援している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2		子ども達が安全で、楽しめる内容を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7				一人一人の子どもの特性を考慮しながら集団活動のルールなどができるように計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	4			終了後に実施するのは、職員の勤務時間等が違うため、ミーティングや送迎前(支援開始前)に情報共有を実施するようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		6	1		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			連絡事項はどの職員が見ても理解できるように記載している。	行った支援について終礼前に個々に記録に残し、今後の支援の検証・改善につなげている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7					
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	4				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7				各会議には、児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7				学校へのお迎えの時に、子どもに関する情報交換はできている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	-	-	-			具体的に医療的ケアの必要な子どもを受け入れた場合は主治医等との連絡体制をとるようにする。(現在は対象の子どもはいない。)
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7					各機関とは連絡を密にして情報を共有して相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7					
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7					
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7					近隣の学童保育の子どもたちと交流がある。
	27	(地域自立支援)協会等へ積極的に参加している	2	3	2			今までは参加していなかったので、今後は積極的に参加できるようにしていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7				保護者との連携を常に密にして、より共通理解を持つようになっている。	子どもを家に送る際、子どもの様子を保護者に伝えながら、共通理解を持てるようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	2				
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7					保護者には契約時に内容を理解していただけるようにしっかり説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7					日頃から保護者と色々な会話をする中で、保護者の相談等の対応をしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1	5			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7					苦情対応体制はできているが、今のところ苦情は発生していない。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7				当月の予定・前月の子ども達の様子などを記載している。	月1回 すかい通信の発行をしている。尚、日々のことは連絡帳にて伝えている。
	35	個人情報に十分注意している	7					個人情報書類は、施錠できる棚に保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7					メール配信等を利用している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	1	1	5			H30.11に現住所に移転したばかりなので、これから地域の人に周知してもらえるように行う予定。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			各マニュアルを作成し、事務所内に掲示し、保護者に配布している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		子ども達が理解できるような訓練を心がけている。	定期的に各訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			研修は実施しているが、外部の専門的研修を受ける機会をさらに増やしていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			個別支援計画書に記載し、保護者の了解を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			現在は対象になる子どもはいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事務所内で共有している	7			事例集や報告書をまとめて共有し保管している。